2023-24 年度
福山西ロータリークラブ

例 会 情 報

第 1556 回（23）

会　長　瀬 尾　義 裕　　幹　事　黒 木　成 光

クラブ会長テーマ

「 次世代に希望を繋ごう！～手を取り合って～ 」

日　　時	2024 年 1 月 16 日（火） 12：30 ～
場　　所	福山ニューキャッスルホテル
例 会 行 事	点 鐘 ・ ソング 「 我等の生業 」 ゲスト・ビジターの紹介 （ 出席報告参照 ） 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 Ｓ Ａ Ａ 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メ ー ク ア ッ プ 情 報 （ 来週分 ） メ ー ク ア ッ プ 情 報 （ 再来週分 ） 今 後 の 行 事 予 定 ク ラ ブ 活 動 報 告

世界に希望を生み出そう

【会長報告】

先日の新年同伴例会は大変お疲れさまでした。パートナーさんを含むご家族にも多数ご参加頂き，会員間，ひいてはご家族同士の親睦の一助になったことと思います。素晴らしい事業を設営された親睦委員会の佐藤委員長にも御礼申し上げます。佐藤委員長には引き続き合同例会という親睦事業を担当して頂きますので，宜しくお願い致します。

さて，ロータリー活動は絶えず前進しています。本年１月８日，国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトが 2024-25 年度の会長テーマ「ロータリーのマジック」（The Magic of Rotary）を発表しました。米国の会員であるアーチックエレクトは，ドミニカ共和国での浄水器設置活動に携わった折，ロータリーのマジックを目にされました。同氏によれば，「機器設置後，汚い水がフィルターに入り，反対側から透明な水が出てくるのを目撃した少年が私の袖をつかんで，『もう一度魔法を見せて』と言ったのです。もちろん，その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し，設置し，現地のリーダーと協力して，将来的なメンテナンスを行うために，懸命に活動したことがマジックでした」と述べられています。

また，アーチック氏は，①平和のために活動するよう会員に促し，②継続と変化のバランスを取ることを宣言しています。

まず，平和活動については，来る２０２５年に「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催の平和会議を開催します。同氏は，「ロータリーには，平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史がある」と述べた上，「平和会議は，ロータリーの平和活動に焦点を当て，ともに学ぶ機会となります」とその意義を述べています。

さらに，アーチック氏は継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し，どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べています。同氏は，「ロータリーは，最善のアイデアを捨てるのでなくそれを土台として築いていく。私たちはバランスを取るという難題に直面していますが，自分たちを変えつつも，自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」として，継続の重要性を述べています。そして，「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ典型的な会員とは異なるタイプの人であっても，DEI を受け入れ，継続と変化に献身し，力を注げば，ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」として，変化の重要性にも触れています。

本日は次年度の会長テーマをご紹介しました。2024-25 年度会長テーマは「ロータリーのマジック」（The Magic of Rotary）ですので，マイロータリーなどで是非ご確認下さい。

【プログラム情報】

《 年男・年女 新春放談》

辰年

昭和 27 年生れ

平田 恭彬　さん

私は 1952 年 10 月３日生まれで、６巡目の辰年を迎えました。
今日の新春放談は先日ある書物で目にした先達の教えをご紹介させていただきたいと思います。

令和６年の新しい年が明けました。
「いつの時代も大変でない時代はなかった」と松下幸之助さんは言っていますが、今年も新年早々に能登地方に大地震が起こり、大変な幕開けになりました。
お亡くなりになられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。
また被災された皆様のご安寧と一日も早く平安の日が訪れますことを心よりお念じ申し上げます。

今年の干支は甲辰（こうしん・きのえたつ）です。
安岡正篤（やすおか　まさひろ）先生の干支学によると、甲という字は草木の芽がそのカラを破って少し芽を出した、という字。
辰は、理想に向かって辛抱強く、かつ慎重に、いろいろの挫折や妨害と闘いながら歩みを進めてゆくという意味があるとのことです。
後漢末の辞書『釈名』（しゃくみょう）には『辰は伸なり』とあります。陽気が動き草木が成長する時ということです。
『説文解字』（せつもんかいじ）※中国最古の辞書）によると、「辰は震なり、三月陽気動き、雷電を振るう」とあります。激しい雷がひびきわたるがよく言動を慎みなすべきことをやれば結果的にはよくなる、ということです。

以上から、今年はいろんな抵抗を慎重に取り除き、従来の問題を解決して新たな体制を作ってゆく年と安岡先生は言っています。

ちなみに同じ干支の組み合わせは６０年に１回ですが、６０年前の甲辰の年は東海道新幹線が開通しました。１２０年前は日露戦争が勃発した年です。日露戦争の終結にはいろいろ困難があったようですが、日本が大きく飛躍した年であったことは確かです。

森信三先生は「2025 年は、日本は再び蘇る兆しを見せるであろう」と言っています。
今年はその前年ですから、きわめて大事な年と言えます。
私たちが心しなければならないのは、先生は先の言葉に続けて「しかしその再起再生の原動力になるものは二宮尊徳の教えに基づくほかない」と明言しているところです。
尊徳の教えは膨大ですが、尊徳の教えは次の３つの言葉に凝縮されると思っています。
一つは
「太陽の徳、広大なりといえども、芽を出さんとする念慮、育たんとする気力なきものは仕方なし」
太陽はすべてのものを育てようとするが、自分で伸びようとする気のないものは育てられないといっているのです。
自分の人生は自分で創るしかない、人生は投じたものしか返ってこないということです。

二つは
「それ我道は人々の心の荒蕪（こうぶ　※荒れ放題になっていること）を開くを本意とする。
　心の荒蕪一人開くる時は、地の荒蕪は何万町あるも憂るにたらざるが故なり」
これが最も大事なことだといえます。これを「心田（しんでん）の開発」といっていますが、心の荒蕪を耕し開いていかない限り、人間の運命は絶対に発展しません。

三つ目です。
「一人の心はまことに僅々（きんきん）たるが如しといえども、その至誠に至りては鬼神（きしん）これが為に感じ、天地の大なるものこれが為に感動す」
まごころの限りを尽くして努力していたら、鬼神も天地も感動して力を貸してくれる、といっているのです。
尊徳は何度もこういうことを体験したのでしょう。我々もこういう体験ができるまで自分を高めたいと思います。
「それが人物というものであり、人物の条件である」と、安岡正篤先生は言っています。

　人生、いろんなことがありますが、先達の教えに学び、与えられた運命の先に自分で豊かな人生を築いていく、そういう一年にしたいものです。
私も先達の教えに少しでも近づけるように努力したいと思っております。
皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

岡部 徳雄　さん

　年男新春放談ということで久しぶりに皆さんの前に立たせていただきます。 昭和２７年生まれで７２歳になります。最近は欠席がちですので顔をご存じない方もおら れますので、自己紹介をします。岡部徳雄と申します。職業は寺の住職をしております。 以後よろしくお願いします。 話は変わりますが正月早々に能登地方の地震の報道にびっくりし、被害が拡がらないこと を、願いながら報道を見ています。 そして２０１１年（平成２３年）東北大震災を思い出しました。その当時北村会長の時代で、 私たちに出来ることはと検討の結果、石岡さんのリーダーシップ

のもと、西クラブとしてで きる限りの支援をということで、松永ロータリーさんと合同で岩手県陸前高田へ訪問し微 力ながら直接支援をすることができました。 この度の災害もロータリークラブとして又、ロータリーアンとして何か出来ることがある と思います。大きなことはできませんが協力しますのでクラブの対応が決まりましたらお 知らせください。

岡﨑 隆　さん

今更ですが、新春明けましておめでとう御座います❗

さて私は、今年の２月５日で 72 歳に成りますが、過ぎて見れば「あっと」言う間の 72 年間でした。「終わり良ければ全て良し」ですが、思い興せば、節目節めでターニングポイントが、有ったと思います。

中学１年の時(12 歳年男１回目)に、街の柔道の道場に通ってたので、夏休みに「スポーツ少年団主催」の富士山登山の合宿に一人で参加しました。初めての一人旅で、福山駅から夜行列車で眠れず、集合場所の富士見駅に朝一に着いたのを、覚えています。初めてのホームシックを経験しました。その後グループ分けがあり周りは全て年上の方々でしたが、直ぐに慣れました。合宿の後半で、待望の富士山登山です。「なめてました」3000M を越えると空気が薄いので、想像以上に体力を消耗し今までに経験した事の無い状況に陥りましたが、やっとの思いで登りきりました。その時自分の中で、これからの人生の中でも、「これ以上辛い事は、無い」と思う程でした。何か、問題が起きると何時も富士登山を思い出し、自分を奮い立たせるのに役立ちました。富士登山は、人生の中でのターニングポイントの一つです。2019 年９月５日にあの時の苦しみを再度経験しようと、今回も弾丸登山に再チャレンジしました。やはりとても辛かったが、今回も成功しました。
中学３年生から高校３年生の夏まで、バンドを結成(リードギターが天才)高校２年から解散するまでは、休みの日にはディスコや納涼船で、演奏活動をしてました。

やはり大学時代の楽しい思い出が、印象的です。
大学 1 年生~3 年間は、住まいの近所に偶然ハヤシレーシングが有り、その事がきっかけで、自動車レースにのめり込んでいました。鈴鹿、中山、野呂山等のレース場に通い青春時代の殆どを費やしました。資金が必要な為、夕方から大阪難波の駐車場で、毎日アルバイトに精を出していました。優勝、リタイア、危ないクラッシュ等を経験しましたが、今考えて観ると随分無茶をしたなぁと思います。その後大学 4 年生からは、スキーに没頭しました。信州は勿論、最後はフランスのシャモニーやスイスのチェルマットにまで行く始末で、自分がやろうと思うと、まっしぐらタイプです。
24 歳(年男２回目)で結婚しその後、妻も子供達にも無理矢理スキーをさせた様に思います。

そして 36 歳(年男３回目)の時に、会社の社員さんの平均年齢を計算すると、54 歳でした。当時 60 歳が、一般的に定年でしたので、後 6 年で、会社が消滅すると思い、39 歳の時社長に就任と同時に「一念復帰」で、「身の丈以上」の設備投資を行いましたが、41 歳の時にバブル崩壊に依る、予想外の展開で、それから約 20 年間とても辛い経験をしましたが、「万物流転」の法則を信じて死にものぐるいで、寝る間も無く頑張った事が、今から思えれば、「周りの方々に助けられて、自分も会社も存在してる」事に、気づかされ自分自身が「謙虚に成る為」の、試練だった様にも思われます。

48 歳の時(4 回目の年男)に今までの事業に手詰まり感を感じてましたので、新規事業をと思い、高校時代の知り合いが、役員をしてた某会社にお願いして新たな事業部を立上げました。しかしながら、今までの仕事とは違うので、試行錯誤の連続で 10 年間やりましたが、やはり下請け業の厳しさを肌で感じました。
惨敗です。事業部を 58 歳で廃部しました。
そののちに　思えば 60 歳(年男 5 回目)の頃からは、事業の方も少しづつ好転し現在に至ってますが、社員や仕入先、そしてお客様のお陰で、生かされて居る事が、ヒシヒシと感じれます。

そして、70 歳で代表を娘婿に譲る事を決めてたので、予定通り 2022 年 4 月に会長職に付いて、その後は、気ままにさせて頂いてます。時間は、比較的自由に成るので、好きなゴルフを同級生達と楽しんでおりますが、現役の方々には、しばしばご迷惑を掛けながら、お付き合いして頂いてます。
ボケ防止の為に、会社へは、ランチを食べに行く様な感覚で、毎日出社してます。

後は、孫達の守です。
現在　中 1、小 5、小 4、小 1 の 4 人ですが、主に小 4 男子、小 1 女子の面倒観てます。

毎週火曜日に皆さまにお逢い出来る事もとても楽しみにしてます。
余り重席な役は、お受け出来ませんが、これからも宜しくお願い申し上げます。

昭和 39 年生れ

藤井 啓之　さん

テーマ「ご縁」

今年 60 歳、還暦です。
還暦前のご縁、私が考えるこれから先のご縁

28 歳　福山西クラブへ入会
沼隈町の田舎者が福山のいろいろな企業の方と知り合いになる。
33 歳　福山青年会議所入会
同年代の企業の役職の人と知り合いになる
福山では老舗の企業、自分一代で起業した人、
何をしているのかよくわからない人・・・
それぞれに、いろんな考え方を持っていて、お酒を飲んでは皆さんの考えをよくお話ししていただきました。

33 歳　両親他界（会社の社長と専務が亡くなる）
福山西ＲＣ退会
退会後も、多くのメンバーから「また落ち着いたら帰ってきてね！」と励ましていただき、
忘年例会は私が入会して以来ずっと当店で開催していただいておりました。
色々なイベントでのお弁当でも声をかけていただいておりました。

40 歳　今まで続いた**ご縁**もあって、福山西ＲＣへ再入会することとなりました。
例会は、どちらかというと欠席が多くて、ご縁を自ら遠ざけていたと思います。

ご縁は、自分の人生での重要な役割であり、今現在は無意識で接している人が、後から、あの人とはご縁があったんだと思うのだと・・・

お誘いをできる限り参加するよう心がけていきたいと思います。

下平 靖孝　さん

本日は、年男放談（辰年）をさせていただきます。
早いもので僕も、還暦をむかえることになりました。
還暦といえば大先輩の方々の話だと思っていましたが、僕もそういう歳になったんだというのが実感です。
昨年１０月に亡くなった中学校の同級生を偲んでの会とともに年末にミニ同窓会的な感じで１０数人あつまりましたが、面影がある人もいれば白髪の人もいて中学校卒業以来４０数年ぶりに会って昔の話をしたりお互い６０歳になったので病気の話だったりしました。
その話の流れで今年の盆休みには、中央中学校昭和５５年卒の還暦同窓会をやる予定でこれから卒業名簿等で所在等を確認して準備を進めていく予定です。
８クラス４０人づつくらいいたと思うので３００何人かになると思います。
ま、担任の先生は、どうなさっているのか気になっているところです。
どこまで集まるかわかりませんが、楽しみにしています。
あと、ゴルフもここ数年成績が良くなくてどうしようかと思っていましたが、去年の秋口からスコアもアップしてまぐれで７０台も出たことでもう少しレベルアップできて長年の目標シングル委の仲間入りできればと思っています。
昨年、親睦旅行に参加して良かったので今年は、あまり行ったことのない地域に行ってみたいと思います。
コロナ禍になって、週一続けている 30～40 分のウオーキングを続けていきたいと思っています。
できたら、週２・３回はやりたいと思っています。
その他、いろんなことにチャレンジしてみたいと思っています。

昭和 51 年生れ

渡邉 祥子　さん

１９７６年１０月１４日生まれの４８歳です。

昨年は出会いの多い年でした。会社を立ち上げて８年、よく考えたらほんとにやってきた事が実を結んできたかなって思っております。

今年は辰年ということもあり、その出会い・ご縁をどんどん繋いでいけたらと思います。

　また最近体調を崩すことも多くなり主人とも話すのですが、少し仕事の仕方も考えていかないとなと思っております。

また本年もよろしくお願いいたします。

【その他報告】

《入会式》

【新入会員紹介】

氏　　名	松下 享平　さん
生年月日	1990年6月3日
職業分類	飲食業
推 薦 者	奥野 充喜　さん
	渡邉 祥子　さん
アドバイザー	塩川 裕樹　さん
所属委員会	親睦委員会
	職業奉仕委員会
	社会奉仕委員会

《 各 種 表 彰 等 》

【慶事のお祝い】

【喜寿祝】　勝岡 正剛　さん・梶原 啓子　さん
　　　　　　登里 孝司　さん
【古希祝】　尾熊 孝典　さん
【還暦祝い】藤井 啓之　さん・下平 靖孝　さん

【皆出席】

【連続皆出席　31 年】竹中 雅彦　さん
【皆出席通算　29 年】登里 孝司　さん
【皆出席通算　17 年】岡部 徳雄　さん